

市町村における発掘調査の概要
平成 27 年度（2015 年度）

平成27年度市町村教育委員会が主体となる発掘調査一覧

(平成28年3月3日現在)

番号	管内	市町	遺跡名	調査理由	調査機関	面積(m ²)	備考
1	石狩	千歳市	メボシ川2遺跡	宅地造成	千歳市 教育委員会	204	
2			キウス13遺跡	詳細分布		291	国庫補助事業
3		恵庭市	ユカンボシE11遺跡	範囲内容 確認	恵庭市 教育委員会	34	
4			茂漁9遺跡	範囲内容 確認		24	国庫補助事業
5			茂漁9遺跡	住宅		230.46	国庫補助事業
6			茂漁11遺跡	下水道		58.95	
7			茂漁1遺跡	下水道		14.83	
8			柏木川7遺跡	下水道		66	
9			柏木川13遺跡	下水道		96.6	
10	渡島	函館市	石川3遺跡	土地区画 整理	函館市 教育委員会	947	
11			電々公社合宿舎遺	道路		1,000	
12			日吉町A遺跡	貸建物移 転新築		100	
13			日吉町A遺跡	道路		1,292	
14			史跡垣ノ島遺跡	史跡内容 確認		182	国庫補助事業 法第125条
15			特別史跡五稜郭跡	崩落石垣 復旧事業		0.5	国庫補助事業 法第125条
16		松前町	史跡松前氏城跡福 山城跡	史跡等保 存整備	松前町 教育委員会	75	法第125条
17		森町	史跡鷺ノ木遺跡	史跡内容 確認	森町 教育委員会	193	法第125条
18		八雲町	八雲3遺跡	範囲内容 確認	八雲町 教育委員会	56	
19	檜山	上ノ国町	史跡上之国館跡の うち勝山館跡	史跡整備	上ノ国町 教育委員会	100	法第125条 調査面積は予定
20	後志	余市町	登町4遺跡	道路	余市町 教育委員会	2,757	
21	宗谷	稚内市	—	農業関連	稚内市 教育委員会	318	
22			—	農業関連		222	
23			—	農業関連		75	
24		浜頓別町	ブタウス遺跡	道路	浜頓別町 教育委員会	4,116	
25	オホーツク	美幌町	豊幌6遺跡	農業関連	美幌町 教育委員会	67	国庫補助事業
26		斜里町	チャシコツ岬上遺跡	詳細分布	斜里町 教育委員会	27	国庫補助事業
27	胆振	室蘭市	絵鞆貝塚	詳細分布	室蘭市 教育委員会	66	国庫補助事業
28		苫小牧市	柏原14・26・56・57・ 58遺跡	詳細分布	苫小牧市 教育委員会	2,268	
29			植苗貝塚	電柱設置		7	
30			樽前4遺跡	火山灰採		6,200	
31		伊達市	若生貝塚	学術研究	伊達市 教育委員会	29	
32		厚真町	富里1遺跡	浄水場	厚真町 教育委員会	186	
33			シヨロマ1遺跡	ダム		7,855	
34			むかわ町	ニサナイ1遺跡	詳細分布	むかわ町 教育委員会	25
35	日高	様似町	冬島遺跡	詳細分布	様似町 教育委員会	4	
36	根室	別海町	史跡旧奥行駅通所	史跡整備	別海町 教育委員会	20	法第125条
37			別海2遺跡隣接地	詳細分布		1.5	

調査面積合計 29,208.34 m²

平成27年度(公財)北海道埋蔵文化財センターによる発掘調査一覧 (平成28年3月3日現在)

番号	管内	市町	遺跡名	調査理由	面積(m ²)	備考
1	石狩	千歳市	トプシナイ2遺跡	道路(国道)	2,250	
2			イカベツ2遺跡	道路(国道)	9,669	
3			根志越5遺跡	河川(遊水地)	2,000	
4	渡島	木古内町	札苺7遺跡	道路(高規格道)	1,000	
5			幸連3遺跡	道路(高規格道)	9,709	
6			幸連4遺跡	道路(高規格道)	7,978	
7			泉沢6遺跡	道路(高規格道)	1,668	
8	上川	下川町	上名寄8遺跡	河川	850	
9	後志	岩内町	東山1遺跡	詳細分布	60	重要遺跡確認調査
10	空知	長沼町	南九号線遺跡	道路(泉郷道路)	4,375	
11	胆振	厚真町	富里3遺跡	用水路	303	
12			オコッコ1遺跡	導水路	2,912	
13			オコッコ1遺跡	河川	260	
14			幌内6遺跡	農業関連	383	
15			幌内7遺跡	導水路	492	
16			厚幌1遺跡	導水路	1,018	
17			厚幌2遺跡	導水路	1,982	
18			上幌内4遺跡	ダム	907	
19			上幌内5遺跡	ダム	5,012	
20			オニキシベ3遺跡	ダム	4,630	
21	根室	根室市	別当賀一番沢川遺跡	道路	1,300	

調査面積合計 58,758 m²

※詳しくは、公益財団法人北海道埋蔵文化財センターへお問い合わせください。
<http://www.domaibun.or.jp/>

平成27年度大学等による発掘調査一覧

(平成28年3月3日現在)

番号	管内	市町	遺跡名	調査理由	面積(m ²)	調査主体者・担当者
1	石狩	札幌市	K39遺跡	開発事業(電気・水道)	14	北海道大学埋蔵文化財調査センター
2				開発事業(電気)	196	
3				開発事業(水道・その他開発)	31	
4	後志	倶知安町	峠下遺跡	学術研究	36	札幌国際大学(越田賢一郎・坂梨夏代)
5		ニセコ町	西富遺跡	学術研究	4	高倉純
6	宗谷	礼文町	浜中2遺跡	学術研究	52.5	北海道大学アイヌ・先住民センター(加藤博文)
7			浜中2遺跡	学術研究	8.25	柳澤清一
8	オホーツク	北見市	大島2(TK-11)遺跡	学術研究	246	東京大学大学院人文社会系研究科(熊木俊朗)
9			吉井沢遺跡	学術研究	32	夏木大吾
10		置戸町	勝山2遺跡	学術研究	24	鶴丸俊明
11	胆振	豊浦町	礼文華遺跡	学術研究	33	小杉 康
12	十勝	上士幌町	嶋木遺跡	学術研究	27.5	首都大学東京都市教養学部(出穂雅実)
13		大樹町	浜大樹2遺跡	学術研究	10.35	深澤百合子

調査面積合計 714.6 m²

※詳しくは、各大学等へお問い合わせください。

遺跡の位置などは、「北の遺跡案内」をご覧ください。

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

市町村における発掘調査の概要（平成27年度）

※ご覧になりたい遺跡をクリックするとページに移動します。

◆ 石狩管内

[千歳市メボシ川 2 遺跡](#)
[千歳市キウス13遺跡](#)
[恵庭市柏木川 7 遺跡](#)
[恵庭市柏木川13遺跡](#)
[恵庭市茂漁 1 遺跡・茂漁11遺跡](#)
[恵庭市茂漁 9 遺跡](#)
[恵庭市ユカンボシE11遺跡](#)

◆ 渡島管内

[函館市石川 3 遺跡](#)
[函館市電々公社合宿舎遺跡](#)
[函館市日吉町A遺跡](#)
[函館市日吉町A遺跡](#)
[函館市垣ノ島遺跡](#)
[松前町史跡松前氏城跡福山城跡](#)
[森町鷺ノ木遺跡](#)
[八雲町八雲 3 遺跡](#)

◆ 後志管内

[余市町登町 4 遺跡](#)

◆ 宗谷管内

[浜頓別町ブタウス遺跡](#)

◆ オホーツク管内

[美幌町豊幌 6 遺跡](#)
[斜里町チャシコツ岬上遺跡](#)

◆ 胆振管内

[室蘭市絵鞆貝塚](#)
[苫小牧市柏原14・26・56・57・58遺跡](#)
[苫小牧市植苗貝塚](#)
[苫小牧市樽前 4 遺跡](#)
[伊達市若生貝塚](#)
[厚真町富里 1 遺跡](#)
[厚真町ショロマ 1 遺跡](#)
[むかわ町ニサナイ 1 遺跡](#)

◆ 日高管内

[様似町冬島遺跡](#)

◆ 根室管内

[別海町史跡旧奥行駅通所](#)
[別海町別海 2 遺跡隣接地](#)

このHPについてのお問い合わせや北海道内の遺跡をもっと知りたい方は・・・

北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

住所：札幌市中央区北3条西7丁目
電話番号(直通)：011(204)5750
FAX番号：011(232)1076

HPのご案内

北の遺跡案内

<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

ちとせし いせき
千歳市メボシ川2遺跡（登録番号A-03-53）

千歳市教育委員会

- 調査理由 開発事業(住宅)
- 調査地 千歳市豊里5丁目10-5、10-13
- 調査期間 平成27年11月2日から11月19日まで
- 調査面積 204 m²

調査の概要

メボシ川2遺跡はJR千歳駅の東北東約1.7km、千歳川の小支流メボシ川の左岸にある、南北約500m、東西約200m、沖積面からの比高約4mの独立丘陵(古砂丘)上に位置します。現在では遺跡の南側約半分は住宅地になっています。宅地造成にともない、昭和56年に道路部分、また平成23年には住宅建設にとまなう発掘調査が行われ、旧石器時代から中近世の遺構・遺物が確認されました。

今回は、隣接する住宅建設予定地2区画において調査を行いました。なお、地表から約40cm下までの層は宅地造成前に営まれていた耕

作により攪乱を受けていたため、樽前C火山噴出物層(2,500~3,000年前噴火)下位の第二黒色土層(縄文時代)および恵庭a火山噴出物(16,000~19,000年前噴火)風化ローム層の上部(旧石器時代)を調査対象としましたが、恵庭a風化ローム層からは埋蔵文化財は発見されませんでした。

遺構は土坑が2基、Tピット(動物を獲るためのおとし穴)が1基、焼土が12基見つかりました。また、遺物は土器が約1700点、剥片石器が約70点、礫石器が約70点、剥片が約270点、礫が約60点発見されました。土器は縄文時代早期から晩期



Tピット(発掘終了後)

のものまで含まれていましたが、約8割は中期の北筒式でした。

報告書は平成27年度3月に刊行予定です。

この遺跡についてのお問い合わせや千歳市の遺跡をもっと知りたい方は・・・

千歳市教育委員会埋蔵文化財センター(メボシ川2遺跡について)

電話・FAX番号:0123(24)4210
maibun@city.chitose.hokkaido.jp

千歳市埋蔵文化財センター(千歳市内の遺跡について)

住所:千歳市長都42-1
開館時間:9:00~17:00
(閉館日:土曜日、月の第2日曜日を除く日曜日、祝日、12月29日~1月3日)

ちとせし いせき
千歳市キウス13遺跡（登載番号A-03-295）

千歳市教育委員会

- 調査理由 詳細分布
- 調査地 千歳市中央410-2
- 調査期間 平成27年5月26日から10月30日まで
- 調査面積 291㎡

調査の概要

国史跡キウス周堤墓群は、JR千歳駅から北東に8kmほど離れた、馬追丘陵西麓の丘陵緩斜面、標高16～20mに立地しています。千歳市は、史跡の保護に万全を期すため、史跡周辺地区の埋蔵文化財詳細分布調査を平成25年度から実施しています。平成27～28年度の調査は、7つの周堤墓が群集する史跡指定地の北側の区域を対象としています。

27年度は、チャシ川の北、国道337号の東側に所在するキウス6号周堤墓史跡指定地の周囲、南北290m、東西230mの範囲（約50,000㎡）を対象に、20m間隔を基本として配置した平面標準規模1m×3mの試掘坑95箇所を発掘調査を実施しました。調査の対象となる縄

文時代～江戸時代の地層（層厚約50～60cm）は、江戸時代から噴出降下した火山灰（層厚約30cm）に覆われ、良好な状態で遺されていました。

埋蔵文化財は、74箇所の試掘坑で確認されました。これによって、初めて調査区域が遺跡であることが分かりました。縄文時代の遺構は、いずれも後期のもので、竪穴住居跡が2軒、墓壙が1個、土坑が2個検出されています。周堤墓は確認され

ていません。「盛土遺構」の可能性のある人為堆積土は、5箇所の試掘坑で確認され、うち3箇所これに付随する焼土遺構が検出されています。これらのほかに、奈良時代（擦文文化期）の竪穴住居跡が1軒発見されています。遺物は、土器が約3,400点、石器が約500点出土しました。これらは、縄文時代、続縄文時代、擦文文化期のものですが、縄文時代後期の遺物が、総数の約9割を占めています。



発掘調査の様子（竹串を立てたところに人為堆積土の遺物があります）

この遺跡についてのお問い合わせや千歳市内の遺跡をもっと知りたい方は・・・

千歳市教育委員会埋蔵文化財センター

電話・FAX番号：0123(24)4210
maibun@city.chitose.hokkaido.jp

千歳市埋蔵文化財センター（千歳市内の遺跡について）

住所：千歳市長都42-1
開館時間：9:00～17:00
（閉館日：土曜日、月の第2日曜日を除く日曜日、祝日、12月29日～1月3日）

えにわしかしわざがわ いせき

恵庭市柏木川7遺跡（登載番号A-04-24）

恵庭市教育委員会

- 調査理由 開発事業（恵庭市公共下水道事業）
- 調査地 恵庭市柏陽町3丁目218地先
（恵庭市道柏木中央11番線・柏木中央11号線）
- 調査期間 平成27年7月14日から7月31日まで
- 調査面積 66 m²



柏木川7遺跡 11g区 竪穴住居跡

調査の概要

遺跡は恵庭市街地から北西に2.2kmほど離れた、柏木川上流域の右岸段丘上の住宅街に位置しています。調査区は市道ごとに2つの区域に分けられます。柏木中央11番線を「11b区」、柏木中央11号線を「11g区」としました。これらの調査区は平行するもので、いずれも柏木川から約200mの距離にあります。本遺跡はこれまでに平成15年度と平成26年度に発掘調査が行われており、今回の調査は第3次調査となります。

11b区では土坑3基、杭穴3個を確認し、土器180点が出土しました。土坑はいずれも縄文時代中期と考えられます。杭穴は覆土や形態からアイヌ文化期と考えられます。出土した土器はすべて縄文時代中期後半のものです。

11g区では竪穴住居跡3軒、土坑9基、落とし穴1基、杭穴、土器集中1か所が確認され、土器約650点のほか石鏃等の石器、土器片加工品が出土しました。杭穴以外の遺構はすべて縄文時代中期のものと考えられます。竪穴住居跡はこぶし大の礫68点を伴出したものが1軒あります。落とし穴は長楕円形のもので、長さ約160cm、幅約50cm、深さ約1mのものです。土器集中では約450

点の柏木川式の土器片がまとまって出土し、2/3程度まで復元されています。遺構外から出土した土器は大半が縄文時代中期後半のものですが、縄文時代早期のものがわずかに含まれます。土器片加工品は土器片を再利用したもので、素材土器片の縁辺を打ち欠いて円形に整形しています。

報告書は平成27年度3月に刊行予定です。



柏木川7遺跡 11g区 落とし穴

この遺跡についてのお問い合わせや恵庭市の遺跡をもっと知りたい方は・・・

恵庭市郷土資料館

住所：南島松157-2
電話番号：0123(37)1288
開館時間 9:30～17:00
（閉館日：月曜日・祝日の翌日・毎月最終金曜日・年末年始）

HPのご案内

<http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/www/contents/1200034453965/index.html>

えにわしかしわざがわ いせき

恵庭市柏木川13遺跡（登録番号A-04-127）

恵庭市教育委員会

- 調査理由 開発事業(恵庭市公共下水道事業)
- 調査地 恵庭市北柏木町1丁目293-1地先
(恵庭市道柏木川沿線)
- 調査期間 平成27年8月3日から8月19日
- 調査面積 97㎡

調査の概要

遺跡は恵庭市街地から北西に2.5kmほど離れた、柏木川上流域の左岸段丘上の住宅街に位置しています。調査区は柏木川から約60mの距離にあり、市道上の延長87mと細長いものです。調査区の延長方向は北東から南西方向で、柏木川とほぼ平行する位置関係にあります。本遺跡は柏木川の河川改修等に伴って、昭和62年度(第1次調査)、平成14年度(第2次調査)、平成15年度(第3次調査)平成16年度

(第4～6次調査)に発掘調査が実施されており、今回の調査は第7次調査となります。今回の発掘調査を実施した区域は、かつて耕作地として利用されており、遺物包含層の下位まで削平が及んでいます。

平成27年度の調査では、竪穴住居跡1軒、土坑1基、炭焼窯1基の遺構が確認され、土器約560点のほか石鏃等の石器、土器片加工品が出土しました。竪穴住居跡と土坑は縄文時代中期のものと考えられま

す。炭焼窯は近現代のものと考えられます。遺構外から出土した土器は大半が縄文時代中期後半のものですが、縄文時代早期のものがわずかに含まれます。土器片加工品は土器片を再利用したもので、素材土器片の縁辺を研磨によって三角形に整形しています。

報告書は平成27年度3月に刊行予定です。



柏木川13遺跡 竪穴住居跡

この遺跡についてのお問い合わせや恵庭市の遺跡をもっと知りたい方は・・・

恵庭市郷土資料館

住所: 南島松157-2
電話番号: 0123(37)1288
開館時間 9:30~17:00
(閉館日: 月曜日・祝日の翌日・毎月最終金曜日・年末年始)

HPのご案内

<http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/www/contents/1200034453965/index.html>

えにわし もいざり いせき もいざり いせき

恵庭市茂漁1遺跡・茂漁11遺跡（掲載番号A-04-15・129）

恵庭市教育委員会

- 調査理由 開発事業（恵庭市公共下水道事業）
- 調査地 恵庭市幸町1丁目地先
（恵庭市道茂漁54番線）
- 調査期間 平成27年7月2日から7月13日（茂漁1遺跡）
平成27年6月29日から7月1日（茂漁11遺跡）
- 調査面積 59㎡（茂漁1遺跡）
15㎡（茂漁11遺跡）



茂漁1遺跡 竪穴状遺構覆土の遺物出土状況

調査の概要

茂漁1遺跡と茂漁11遺跡は隣接した遺跡で、恵庭市街地から西に2.2kmほど離れた、茂漁川上流域の左岸段丘上に位置しています。

茂漁1遺跡の調査区域は茂漁川から約100mの距離にあり、幅約1m、延長約45mと細長いものです。調査区の延長方向は北西から南東方向で茂漁川と直交する位置関係にあります。調査区域の中ほどを境として旧地形に違いがみられ、茂漁川に近い側は低地となり、現地表面から約80cm下に湧水のある砂礫層が確認されました。このことから、本調査区にみられた低地は茂漁川の旧河道であったと考えられ、茂漁川から離れた側は旧地形の段丘上であるといえます。

茂漁1遺跡では、竪穴状遺構1基、土坑2基、焼土1か所、杭穴1個を確認し、土器約560点や搔器等の石器が出土しました。すべて擦文時代のものであり、旧地形の段丘上から分布しています。竪穴状遺構

は遺構覆土から丸底の土師器坏などが出土しました。遺構の構築も擦文時代前期頃と推定されますが、覆土から多くの遺物が出土していることから、遺構のくぼみを二次的に利用していたものと考えられます。遺構外から出土した遺物も擦文時代前期と推定されます。

茂漁11遺跡の調査区域は茂漁川から約15mに距離にあり、幅約1m、延長15mと細長いものです。調

査区の延長方向は北東から南西方向で、茂漁川と平行する位置関係にあります。調査区内は過去の削平によって遺物包含層のほとんどが消失している状況にありました。このことから、遺構はなく、遺物も擦文時代前期の土器4点の出土にとどまりました。

報告書は平成27年度3月に刊行予定です。



茂漁11遺跡 土層堆積状況

この遺跡についてのお問い合わせや恵庭市の遺跡をもっと知りたい方は・・・

恵庭市郷土資料館

住所：南島松157-2
電話番号：0123(37)1288
開館時間 9:30～17:00
（閉館日：月曜日・祝日の翌日・毎月最終金曜日・年末年始）

HPのご案内

<http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/www/contents/1200034453965/index.html>

えにわしもしざり いせき

恵庭市茂漁9遺跡（登録番号A-04-127）

恵庭市教育委員会

恵庭市詳細分布調査①:

- 調査理由 詳細分布(範囲内容確認)
- 調査地 恵庭市恵央町3番4
- 調査期間 平成27年4月22日から4月23日まで
- 調査面積 24㎡

調査の概要

茂漁9遺跡は、JR恵み野駅の南約1km、茂漁川の左岸段丘上(標高約29m)に位置しています。調査前の状況は、ほぼ平坦な宅地と畑でした。地主の方から遺跡の範囲や内容を確認してほしいとの要望があり、恵庭市が試掘調査を行いました。試掘坑は、幅1m、長さ2mの穴を10～20m間隔で12か所に設定しました。

調査地の大半が茂漁川の旧氾濫原で、下層は泥炭や粘土、上層は表土の下に黒色系か黄褐色系の粘土が堆積していました。遺物は、1か所の試掘坑で続縄文後期後北C2・D式(約1,700年前)と擦文前期(約1,300年前)の土器片各1点が見つかりました。そのほかに畑の表面にあった後北C2・D式の土器片1点を拾いました。遺構は確認できませんでした。報告書は平成27年度3月に刊行予定です。



遺物が見つかった試掘坑

この遺跡についてのお問い合わせや恵庭市の遺跡をもっと知りたい方は・・・

恵庭市郷土資料館

住所: 南島松157-2
電話番号: 0123(37)1288
開館時間 9:30~17:00
(閉館日: 月曜日・祝日の翌日・毎月最終金曜日・年末年始)

HPのご案内

<http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/www/contents/1200034453965/index.html>

えにわし

いーじゅういちいせき

恵庭市ユカンボシ E11 遺跡（登録番号A-04-117）

恵庭市教育委員会

恵庭市詳細分布調査②:

- 調査理由 詳細分布(範囲内容確認)
- 調査地 恵庭市5丁目529番20・21・25・27・32・41・42
- 調査期間 平成27年6月26日
- 調査面積 34㎡

調査の概要

ユカンボシE11遺跡は、JR恵庭駅の南東約1.5km、ユカンボシ川の右岸段丘上(標高約27m)に位置しています。調査前の状況は、ほぼ平坦な宅地で、調査区は大きく3か所に分かれていました。地主の方から遺跡の範囲や内容を確認してほしいとの要望があり、恵庭市が試掘調査を行いました。試掘坑は、幅1m、長さ2mの穴を10～20m間隔で17か所に設定しました。

調査地は、遺跡包含層である黒色土が良好に残存していました。遺物は、6つの試掘坑から縄文中期前半(約4,600年前)の土器片3点、縄文後期初頭(約3,800年前)の土器片4点、縄文の石器など3点が出土しました。遺構は確認できませんでした。報告書は平成27年度3月に刊行予定です。



調査の様子

この遺跡についてのお問い合わせや恵庭市の遺跡をもっと知りたい方は・・・

恵庭市郷土資料館

住所: 南島松157-2
電話番号: 0123(37)1288
開館時間 9:30~17:00
(閉館日: 月曜日・祝日の翌日・毎月最終金曜日・年末年始)

HPのご案内

<http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/www/contents/1200034453965/index.html>

函館市石川3遺跡（登録番号B-01-136）

函館市教育委員会・特定非営利活動法人函館市埋蔵文化財事業団

- 調査理由 開発事業（土地区画整理）
- 調査地 函館市石川町167-5・14・43
- 調査期間 平成27年4月15日から平成27年5月25日まで
- 調査面積 947 m²

調査の概要

本年度の石川3遺跡の発掘調査は函館市石川稜北地区の土地区画整理事業に関連して行われました。

遺跡は函館平野に面した標高20～50m程の丘陵地に位置します。石川の右岸に広がる緩斜面上にあり、調査地点の標高は37～39mほどです。

付近一帯は函館市内でも特に先史時代の遺跡が密集している地区として知られています。常盤川の左岸にあるサイベ沢遺跡は道南部の円筒土器文化の標識遺跡として知名度が高く、石川の右岸には縄文

時代中期の大規模集落跡である桔梗2遺跡と石川1遺跡が隣接しています。石川3遺跡は2つの集落跡の北側に位置しています。

調査地点の現況は耕作地であり、遺物包含層はほぼ全面的に削平されている状況でした。

確認した遺構は、落とし穴23基、土坑1基があります。落とし穴は、ひょうたん形と長楕円形の2形態があり、後者が20基で多数を占めます。規模はひょうたん形では長径2.5m程度、長楕円形では2.5～3.0m程度のもが多くみられま

す。長軸方向は1基を除き、概ね石川に下る傾斜方向に向いています。長楕円形のタイプでは傾斜方向に直交し6～7m間隔で配置される明瞭な配列がありました。土坑は小型のフラスコ状土坑を確認しています。

遺物は表土や攪乱層、落とし穴の覆土から僅かに出土しました。縄文時代中期の土器片11点、石器類11点、計22点があります。

報告書の刊行は、平成27年度内を予定しています。



石川3遺跡全景



落とし穴作業状況

この遺跡についてのお問い合わせや函館市の遺跡をもっと知りたい方は・・・

函館市教育委員会生涯学習部文化財課埋蔵文化財担当（石川3遺跡について）

住所：函館市臼尻町551-1（函館市縄文文化交流センター内）

電話番号：0138(25)5113

函館市縄文文化交流センター（函館市内の遺跡について）

住所：函館市臼尻町551-1

電話番号：0138(25)2030

開館時間：（4月～10月）9：00～17：00、（11月～3月）9：00～16：30

（閉館日：月曜日・毎月最終金曜日、年末年始など）

HPのご案内

函館市教育委員会生涯学習部文化財課埋蔵文化財

<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/soshiki/bunkazai/>

函館市電々公社合 宿舍遺跡（登載番号B-01-295）

函館市教育委員会・特定非営利活動法人函館市埋蔵文化財事業団

- 調査理由 開発事業(道路)
- 調査地 函館市臼尻町357番地1
- 調査期間 平成27年5月12日から平成27年9月2日まで
- 調査面積 1,000 m²

調査の概要

遺跡は臼尻町の弁天岬に面した標高約39.5～40.5mの海岸段丘上にあります。縄文前期以降の遺物包含層(Ⅲ層)と駒ヶ岳火山灰(Ⅳ層)の下にある早期の遺物包含層(Ⅴ層)を発掘調査しました。

Ⅲ層の調査

確認した遺構には、竪穴住居跡2軒、土坑5基、柱穴状土坑67基があります。竪穴住居跡は縄文後期のものが確認できました。2軒のうち1軒は、楕円形の住居跡で南側の壁が一部内側に張り出しています。この張り出しは後期中葉から後葉の住居跡に見られる出入口と思われます。この部分には2本の柱穴がありました。炉跡は確認できませ

んでした。もう1軒の住居跡は、不整楕円形の住居跡で内部に石囲炉が確認できました。大型の礫も並べており、炉から30cmほど離れたところには2個の大型礫が平行に並べて置かれていました。2個の大型礫は炉跡に関係する施設と思われる。この住居跡は形や出土した遺物などから縄文後期前半のものと思われます。

遺物は、縄文後期前半を主体とする土器が1,922点、石鏃、スクレイパー、石斧、敲石、擦石、磨石、砥石、石皿などの石器と石製品合わせて1,042点出土しています。板状の三角形石製品には、孔を開け

たものや三角形に沿った刻線が入るものなどがあります。

Ⅴ層の調査

確認した遺構には、土坑12基があります。大きさや形はさまざま、0.5～1.5m程度の円形、楕円形、長楕円形のものがありません。

遺物は1,645点出土しました。土器は縄文早期後半の撚糸文土器が多く、前半の貝殻文土器もあります。石器は、石槍、つまみ付ナイフ、スクレイパーなどの剥片石器、石斧、敲石、擦石、石錘などの礫石器と石製品などがあります。

報告書の刊行は、平成28年度内を予定しています。



竪穴住居跡作業状況



Ⅴ層調査全景

この遺跡についてのお問い合わせや函館市の遺跡をもっと知りたい方は・・・

函館市教育委員会生涯学習部文化財課埋蔵文化財担当（電々公社合 宿舍遺跡について）

住所：函館市臼尻町551-1（函館市縄文文化交流センター内）

電話番号：0138(25)5113

函館市縄文文化交流センター（函館市内の遺跡について）

住所：函館市臼尻町551-1

電話番号：0138(25)2030

開館時間：(4月～10月)9:00～17:00、(11月～3月)9:00～16:30

(閉館日：月曜日・毎月最終金曜日、年末年始など)

HPのご案内

函館市教育委員会生涯学習部文化財課埋蔵文化財

<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/soshiki/bunkazai/>

函館市日吉町A遺跡（登載番号B-01-15）

函館市教育委員会・特定非営利活動法人函館市埋蔵文化財事業団

- 調査理由 開発事業（貸建物移転新築）
- 調査地 函館市日吉町4丁目64番8・9
- 調査期間 平成27年7月30日から平成27年8月25日まで
- 調査面積 100㎡

調査の概要

函館新外環状道路（空港道路）建設事業に伴って函館バス日吉営業所の移転工事が包蔵地内で行われるため発掘調査を実施しました。

遺跡は横津岳を頂とする亀田半島山岳部の南麓にあたり、松倉川の支流である湯の沢川の右岸に位置します。函館平野に向かって緩やかに傾斜する地形上に位置し、調査地点の標高は50m前後です。

日吉町A遺跡では、昭和45年に開発行為に伴った発掘調査が行われています。縄文時代後期のストーンサークルと称された配石遺構や墓壇、竪穴住居跡や関連する遺構・

遺物が確認されたことから、祭祀的な遺跡として知られるようになりました。今年度は、湯の沢川に合流する枝沢の北端付近において2か所、計100㎡の範囲を発掘調査しました。

2つの区域のうち、北側の区域は著しい攪乱が及んでおり、遺構及び遺物包含層は確認できませんでした。南側の区域ではバス通路の路盤下に遺物包含層が確認されました。西側の沢に下る緩い傾斜地であり、縄文後期の土器などが出土しました。遺構は確認さ

れませんでした。

北側の区域では攪乱層から土器片などが21点出土しました。南側の区域から出土した50点の遺物は全て包含層から出土したものです。土器は沈線文、磨消縄文、刻み列など後期後半の特徴をもつものが主体的です。石器では石鏃などの剥片石器と敲石・擦石などの礫石器が少量出土しました。

報告書の刊行は、平成27年度内を予定しています。



北側区域（80㎡）作業全景



南側区域（20㎡）作業全景

この遺跡についてのお問い合わせや函館市の遺跡をもっと知りたい方は・・・

函館市教育委員会生涯学習部文化財課埋蔵文化財担当（日吉町A遺跡について）

住所：函館市日吉町551-1（函館市縄文文化交流センター内）

電話番号：0138(25)5113

函館市縄文文化交流センター（函館市内の遺跡について）

住所：函館市日吉町551-1

電話番号：0138(25)2030

開館時間：（4月～10月）9:00～17:00、（11月～3月）9:00～16:30

（閉館日：月曜日・毎月最終金曜日、年末年始など）

HPのご案内

函館市教育委員会生涯学習部文化財課埋蔵文化財

<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/soshiki/bunkazai/>

函館市日吉町A遺跡（登載番号B-01-15）

函館市教育委員会・特定非営利活動法人函館市埋蔵文化財事業団

- 調査理由 開発事業(道路)
- 調査地 函館市日吉町4丁目127-2・7,128,129-1・4,130-4
- 調査期間 平成27年5月26日から平成27年7月29日まで
- 調査面積 1,292 m²

調査の概要

函館新外環状道路(空港道路)建設に伴う発掘調査を実施しました。遺跡は横津岳を頂とする亀田半島山岳部の南麓にあたり、松倉川の支流である湯の沢川の右岸に位置します。函館平野に向かって緩やかに傾斜する地形上に位置し、調査地点の標高は50m前後です。

日吉町A遺跡では、昭和45年に開発行為に伴った発掘調査が行われています。縄文時代後期のストーンサークルと称された配石遺構や墓壇、竪穴住居跡や関連する遺構・遺物が確認されたことから、祭祀的な遺跡として知られるようになりました。今年度は、過年度の調査地点より東側の湯の沢川の崖面に近い

地点を調査しました。

調査では縄文時代後期を主体とした遺構・遺物を確認しました。遺構は土坑8基、落とし穴1基、焼土4か所、剥片集中1か所、集石1か所があります。土坑のなかには隅丸長方形をしたものが4基ありました(P-1～4)。これらは近い位置にまとまって造られており、長軸方向は概ね東西を向いています。大きさは長径1.8m前後であり、同程度の深さに掘削されています。覆土上面に配石があるものや坑底から石製垂飾品が出土した土坑もあります。垂飾品は美しい緑色の飾り玉で、大きさは長径2.4cm程度あり

ます。これらの隅丸長方形の土坑は確認した状況や出土遺物などから墓壇の可能性がります。

遺物は土器・石器類など全体で約1,400点出土しています。包含層の下部からは早期の貝殻文尖底土器が少量出土しました。後期の遺物は中葉のものが主体であり、銚澗式相当の土器が出土しています。石器類は各種の剥片石器、礫石器が出土しており、包含層下部から出土した礫石器には三角柱状の擦石、石錘などもありました。

報告書の刊行は、平成27年度内を予定しています。



日吉町A遺跡作業全景



土坑作業状況

この遺跡についてのお問い合わせや函館市の遺跡をもっと知りたい方は・・・

函館市教育委員会生涯学習部文化財課埋蔵文化財担当（日吉町A遺跡について）

住所：函館市日尻町551-1（函館市縄文文化交流センター内）

電話番号：0138(25)5113

函館市縄文文化交流センター（函館市内の遺跡について）

住所：函館市日尻町551-1

電話番号：0138(25)2030

開館時間：(4月～10月)9:00～17:00、(11月～3月)9:00～16:30

(閉館日：月曜日・毎月最終金曜日、年末年始など)

HPのご案内

函館市教育委員会生涯学習部文化財課埋蔵文化財

<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/soshiki/bunkazai/>

函館市垣ノ島遺跡（登録番号B-01-258）

函館市教育委員会

- 調査理由 史跡内容確認
- 調査地 函館市臼尻町406-1、417-1・3・5、418、419-1・2、420、426-1、431、432、433
- 調査期間 平成27年6月1日から10月31日まで
- 調査面積 182 m²

調査の概要

今年度は史跡垣ノ島遺跡の主要な遺構である盛土遺構の規模や範囲を特定するため、主体部および接合部の調査を行いました。

盛土遺構主体部の調査では、いずれの調査区においても概ね盛土の範囲を確認することができました。

盛土南西部の先端では、大きく地形が改変されることなく現在も当時の地形・形状を残していることが



盛土と遺物出土状況 1

わかりました。盛土が最も厚く堆積する地点では約170cmを測り、基底面上や盛土下位では、縄文前期末の円筒下層d2式に相当する土器が多量に出土しました。

盛土北東部の先端では、残存する盛土堆積土の境界を確認したことに加えて、盛土下位から掘り込まれた土坑の底面から糊状になった人骨と考えられる骨を検出しました。

盛土南東部では、盛土堆積土が垣ノ島川に向かう斜面地である調査区南東端まで続いていることを確認しました。

また多くの調査区で、盛土遺構より古い時期と考えられる複数の竪穴住居の痕跡を確認したことから、盛土構築以前においても大集落が存在したと考えられます。

接合部の調査では、平成18年度調査と同様に、固く締まった通路状の痕跡を検出しました。さらには盛土堆積土と通路状の低みとの間で大型の柱穴状ピットを1基検出しました。

出土した遺物は、土器では縄文前期末の円筒下層d2式、中期の円筒上層a・b式、大安在B式、ノダツプⅡ式、レンガ台式、後期の



盛土と遺物出土状況 2

天祐寺式等がみられます。剥片石器では、石鏃、石匙、スクレイパー類が、礫石器では石斧、擦石、敲石、石皿、砥石等が出土しています。その他、有孔土器片板やミニチュア土器、青竜刀形石器や有孔石製品がみられます。

報告書は平成28年度に刊行の予定です。

この遺跡についてのお問い合わせや函館市の遺跡をもっと知りたい方は・・・

函館市教育委員会生涯学習部文化財課埋蔵文化財担当（垣ノ島遺跡について）

住所：函館市臼尻町551-1（函館市縄文文化交流センター内）

電話番号：0138(25)5113

函館市縄文文化交流センター（函館市内の遺跡について）

住所：函館市臼尻町551-1

電話番号：0138(25)2030

開館時間：（4月～10月）9:00～17:00、（11月～3月）9:00～16:30

（閉館日：月曜日・毎月最終金曜日、年末年始など）

HPのご案内

函館市教育委員会生涯学習部文化財課埋蔵文化財

<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/soshiki/bunkazai/>

まつまえちょうしせきまつまえししろあとふくやまじょうあと

松前町史跡松前氏城跡福山城跡（登載番号B-02-53）

松前町教育委員会

- 調査理由 歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業(史跡等保存整備)
- 調査地 松前郡松前町字松城(二ノ丸地区南西部:字松城146・148・149番地)
- 調査期間 平成27年7月22日から平成27年10月30日まで
- 調査面積 75 m²

調査の概要

福山城は、前身となる福山館を改修・補強し、安政元年(1854)に完成した旧日本式城郭で、外国船打ち払いのため、海に面した三ノ丸に7基の台場を持つという特色があります。明治8年(1875)までに、三層天守と本丸御門、本丸御殿を残して城内の石垣や建物が取り壊されました。三層天守は一時国宝となりましたが、昭和24年(1949)に焼失し、現在は「福山城(松前城)本丸御門」が重要文化財として保存されています。

昭和50年度に第一次保存管理計

画を、平成8年度には第二次保存管理計画を策定し、これに基づき史跡整備事業が進められています。

今年度の調査区は、昨年度に引き続き二ノ丸地区南西部です。昨年度調査では、TP-1・3・4において、西側土坡の一部とみられる黒色土層を確認しました。今年度調査では、TP-7において本丸土居北面の勾配を確認することができました。TP-8では花崗岩の切石が出土し、TP-9ではグリーンタフの石垣遺構を検出しましたが、構築時期については精査が必要です。TP-9～11の

本丸土居セクションでは、いくつかの生活面を確認するとともに、近・現代に構築された石垣下部より、方形の根石を検出しました。TP-12は近代以降のかく乱が著しいものの、北面セクションの東端において旧地表面とみられる土層を確認しました。

出土遺物は、近世～現代にかけての陶磁器、燻瓦、施釉瓦、古銭(寛永通宝)、ガラス製品などがあげられます。



TP-7本丸土居勾配確認面



TP-12旧地表面とみられる土層（赤矢印）

この遺跡についてのお問い合わせや松前町の遺跡をもっと知りたい方は・・・

松前町教育委員会(史跡松前氏城跡福山城跡について)

電話・FAX番号:0139(42)3060

松前町郷土資料館(松前町内の遺跡について)

電話番号:0139(42)3060

開館時間:毎年4月10日～12月10日、9:00～4:30

森町鷺ノ木遺跡（登載番号B-14-35）

森町教育委員会

- 調査理由 内容確認調査
- 調査地 茅部郡森町字鷺ノ木町503-6
- 調査期間 平成27年6月15日から11月17日まで
- 調査面積 193 m²

調査の概要

鷺ノ木遺跡は森町市街地の西方約4km、内浦湾の海岸線から直線距離で約1kmの内陸に位置します。桂川支流の上毛無沢川と下毛無沢川に挟まれた標高約70mの舌状台地である高位段丘面と、標高37～50m前後の緩斜面である低位段丘面、高位段丘面と低位段丘面を繋ぐ比高差約15mの斜面に立地しています。高位段丘面からは縄文時代後期の環状列石、竪穴墓域、配石遺構、竪穴建物跡等が発見されています。低位段丘面からは土坑が1基と、上毛無沢川に沿う形で縄文時代後期の遺物が大量に発見されています。今年度の調査は高位段丘面で確認されている窪地と、竪穴墓域2号の確認調査を行いました。



竪穴墓域2号調査状況（南東→北西）



窪地地点調査状況（南→北）

た。

窪地は、環状列石の北へ約50mの台地端部に位置し、直径約80m、比高差2～4mの規模で形成されています。さらに、窪地の中央付近には比高差2～3mの小丘が存在します。この地形が自然地形であるのか、或いは造られた地形であるのか、その形成要因を調べるために調査を行いました。調査の結果、縄文時代でも同様な地形だったことが確認されました。調査区の標高が一番低い場所と、調査区北側の小丘部平坦面からは土

器片が出土しており、この窪地は人々の活動領域であることがわかりました。斜面部分からは遺物がほとんど出土しませんでした。窪地は遺物の捨て場等に利用されたものではなく、遺物を残さない様に意識をされていた可能性も考えられます。

竪穴墓域2号は環状列石から南東へ約5mの地点から発見されました。平成15年に発見された竪穴墓域1号と対になるような場所に位置しています。竪穴墓域2号は平成19年の緊急発掘調査によってその一部分が発見されました。今年度の調査は、竪穴墓域の全体的な規模、遺構が造られた時期の確認をするために旧調査区を東側へ拡張して調査を行いました。調査の結果、竪穴墓域全体の範囲を確認することはできなかったのですが、土の堆積状況から、竪穴墓域は東側への大きな広がりを見せない可能性が考えられます。

この遺跡についてのお問い合わせや森町の遺跡をもっと知りたい方は・・・

森町教育委員会(鷺ノ木遺跡について)

電話番号:01374(2)2186

森町遺跡発掘調査事務所(森町内の遺跡について)

住所:茅部郡森町字森川町292-24

電話番号:01374(3)2240

メールアドレス:moriwashi-site@festa.ocn.ne.jp

開館時間:9:00～16:00（閉館日:土日祝日、年末年始など）

八雲町八雲3遺跡（登載番号B-16-42）

八雲町教育委員会

- 調査理由 詳細分布(範囲内容確認)
- 調査地 八雲町三杉町25番37、182
- 調査期間 平成27年5月1日
- 調査面積 56 m²

調査の概要

遺跡は、八雲地域の市街地南側にあたり、砂藺部川によって形成された標高約11mの河岸段丘上に立地しています。

平成元年に実施された八雲山車保管施設建設工事に伴う発掘調査において、焼土2か所が確認され、縄文時代早期を主体とした土器・石

器類が出土しています。

今回の調査は、三杉町25番37では、1,168.03m²の面積に対して2×2m²の試掘坑8か所を設定して調査を行った結果、遺物包含層は確認されませんでした。

三杉町25番182では、610.40m²の面積に対して、2×2m²の試掘坑

6か所を設定して調査を行った結果、1か所試掘坑の0層(埋土層)から時期不明の剥片3点が出土しましたが、遺物包含層は確認されませんでした。



試掘坑から出土した剥片



発掘調査風景

この遺跡についてのお問い合わせや八雲町の遺跡をもっと知りたい方は・・・

八雲町教育委員会(八雲3遺跡について)

電話番号:0137(63)3131

八雲町郷土資料館(八雲町内の遺跡について)

住所:八雲町末広町154番地

電話番号:0137(63)3131

メールアドレス:museum@town.yakumo.lg.jp

開館時間:9:00~16:30 (閉館日:月曜日、祝日、年末年始)

余市町 登町4遺跡（登載番号D-19-27）

余市町教育委員会

- 調査理由 開発事業(道路)
- 調査地 余市町登町307番地
- 調査期間 平成27年5月8日から10月31日まで
- 調査面積 2,757 m²

調査の概要

登町4遺跡は余市町市街地から小樽に向かうフルーツ街道沿いの標高20～50mを測る丘陵に位置しており、今年度の調査区はその丘頂部から伸びる緩斜面上にあります。

登町4遺跡の調査は平成24年度に始まり、今年度で4年目の最終年を迎えました。余市町内の数多くある遺跡の中で最も古い時代に当たる縄文時代早期の土器が出土しています。今年度は遺構として、土坑10基、Tピット1基、集石遺構1ヶ所、剥片集中4ヶ所などが検出されました。また、今年度の出土遺物は土器片5,171点、剥片・剥片石器53,786点、礫・礫石器1,550点、合計60,507点を数えます。土器は縄文時

代早期～中期のものが主体で、石器類も概ねそれらに伴うものと思われる。

検出された土坑は1～3.5m程の大きさですが、1基だけ5mを超えるやや大型のもので柱穴はありませんが、壁際に火を焚いたと思われる焼土が確認され、出土した土器から縄文時代早期に作られた季節的な仮小屋と考えられます。近・現代に属する1基を除く他の土坑は、縄文時代早期～中期に作られたものと思われる。前年度に続き2基目となるTピットは、細長い溝状の掘り込みで、深さ約90cmを測り、シカ等を捕獲するための落とし穴と考えられます。また集石遺構は約2.4×2mの範囲に輝石安

山岩がまとまって出土したのですが、規則的な配置や掘り込みは確認されませんでした。近隣に西崎山環状列石などもあり、石に対する信仰など、何かの目的があつて集められたものと考えられます。剥片集中は1ヶ所が頁岩、

他の3ヶ所は黒曜石の剥片が主体となって出土しており、狩りや石器製作を行っていた当時の様子がかがえます。

登町4遺跡は今年度をもって4年間に亘る発掘調査が終了となります。なお、本調査の報告書は平成28年2月末に刊行する予定となっています。



ミニチュア土器出土状況



出土剥片石器

この遺跡についてのお問い合わせや余市町の遺跡をもっと知りたい方は…

余市水産博物館

電話番号:0135(22)6187
開館時間:9:00～16:30
(月曜日、祝日の翌日、12月上旬～翌年4月中旬まで冬期休館
休館中は平日であれば、お問い合わせに対応いたします)

浜頓別町ブタウス遺跡（登載番号H-03-20）

浜頓別町教育委員会

- 調査理由 開発事業(国道改良)
- 調査地 枝幸郡浜頓別町字ブタウス201-26
- 調査期間 平成27年5月18日から10月30日まで
- 調査面積 4,116㎡

調査の概要

ブタウス遺跡は、浜頓別町市街地から南東に約6km、オホーツク海岸に形成された標高2～6mの砂丘上に位置します。遺跡の西側が頓別川と豊寒別川の合流点から広がる低湿地に面し、さらに低湿地を挟んだ約200m内陸側の段丘上には縄文時代中期から擦文時代までの複合遺跡である豊寒別段丘遺跡があります。

平成24年度から平成26年度にかけて7,992㎡の発掘調査を実施し、縄文時代晩期～続縄文期の土壇墓・建物状遺構・集石炉などの遺構を多数検出しました。また、平成27年度の調査においても同様に土壇墓13基・土坑92基・建物状遺構6軒・小穴271基・集石炉9基・焼土72か所などの遺構を多数検出しました。

遺構の分布傾向としては、建物

状遺構・集石炉・土坑・小穴等の遺構群が集中する「作業域」と作業域を挟み南北に土壇墓群が2カ所に分かれ分布し「墓域」を形成していることが分かりました。

主な遺物は土器・石器・琥珀玉・礫があり、コンテナで60箱分出土しました。土器は縄文時代晩期幣舞式～続縄文初頭のものと考えられるものが大半を占めますが、続縄文期のもも少量出土しています。石器は剥片石器が主で定形の石鏃・石槍・削器・搔器などがありますが、中でも不定形の二次加工のある剥片や使用痕のある剥片の比率が突出して多く出土しています。それに対し、礫石器の比率は少ないですが敲石・石斧・砥石・矢柄研磨器など器種は豊富にあります。また、石器の出土状

況と石器組成は「墓域」と「作業域」で大きく異なっており、「墓域」では遺構に伴うものが主で定形の剥片石器・礫石器が多く出土し、「作業域」では包含層出土のものが多く、削器や不定形の剥片石器が多い傾向があります。その他の遺物として、包含層中から腐食した鯨骨が多数出土していることから、当時の生活において何らかの関連性があることが想定されます。

平成26～27年度の報告書については、平成29年度に刊行を予定しています。



調査区全景（北西方向から撮影）



土壇墓内遺物出土状況（石鏃出土）

この遺跡についてのお問い合わせや浜頓別町の遺跡をもっと知りたい方は・・・

浜頓別町教育委員会社会教育係

住所：枝幸郡浜頓別町中央北2番地
電話番号：01634(2)4666

美幌町豊幌6遺跡（登録番号 I -06-131）

美幌町教育委員会

- 調査理由 農業関連(区画整理)
- 調査地 美幌町字豊幌291-1・2・3
- 調査期間 平成27年5月12日から5月16日まで
- 調査面積 67㎡

調査の概要

豊幌6遺跡は美幌町市街地より南に約7km、標高130m程のあやめ沢川右岸の丘陵上に立地しています。豊幌6遺跡の西側に隣接して、比高差約10m上の丘陵上には豊幌5遺跡が立地しています。豊幌6遺跡の調査は、道営農地整備事業美幌豊栄地区の区画整理工事に伴い、遺跡の範囲を確認する目的で試掘調査を実施しました。

試掘調査の結果、遺構は確認されませんでした。調査区西側を中心に黒曜石の剥片が3点出土しました。所在調査においても、表面踏査で採取された遺物は黒曜石の剥片20点、削器5点、搔器1点で、出土した範囲は調査区西側に限られたことから、豊幌6遺跡の範囲は丘陵の西側に限られるものと考えられます。

遺跡の時期は、調査区の隣接地から北筒式土器の破片が出土していることから縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられます。



豊幌6遺跡位置図



豊幌6遺跡近景

この遺跡についてのお問い合わせや美幌町の遺跡をもっと知りたい方は…

美幌博物館

住所: 美幌町字美倉253-4
電話番号: 0152(72)2160

しやりちょう

みさきうえいせき

斜里町チャシコツ岬上遺跡（登載番号 I -08-21）

斜里町教育委員会

- 調査理由 学術調査（詳細分布調査）
- 調査地 斜里郡斜里町ウトロ西地先1377林班
- 調査期間 平成27年8月29日から10月10日まで
- 調査面積 27 m²

調査の概要

チャシコツ岬上遺跡は北緯44° 3′ 53″、東経144° 58′ 55″付近、斜里町ウトロ市街地より斜里町市街地方向へ約2km南西に進んだオホーツク海に突き出た海岸段丘上に立地しています。この段丘面の平坦地上には31棟もの竪穴住居跡が確認され、オホーツク文化後～末期（9世紀～10世紀頃）を主とした集落跡と考えられます。

本年度は昨年度から調査を継続中のオホーツク文化（貼付文）期の竪穴住居跡1棟について調査しました。調査の結果から、平面形は概ね五角形を成しており長軸6m程の規模であると推定されます。

さらに、住居内東側からは骨塚が見つかり、ヒグマの四肢骨を中心とした大規模なもの、小型獣の四肢骨を中心とした小規模ものの2つでした。発掘調査時の観察では、骨塚からはヒグマの頭蓋骨が1個体も確認できず、一般的な骨塚とは異なる特殊なものと考えられます。周囲からは大小様々なオホーツク土器が出土しており、ヒグマの四肢骨を中心とした骨塚に伴うものと推察されます。来年度は残された壁際部分の調査を実施し、本竪穴住居跡を完掘する予定です。

また、竪穴住居跡よりもさらに崖際から積石を伴う土坑墓が検出さ

れました。こちらもオホーツク文化（貼付文）期の遺構であり、墓坑上部からは人の歯や破損した刀子などが出土しました。これほど大規模な積石を伴うものは極めて希で、本地域に特徴的なものである可能性があります。

遺物の出土点数は、合計1,973点でした。出土土器の主体はオホーツク土器（貼付文）ですが、トビニタイ土器のほか縄文中期の土器片も少数見つかっています。石器では、ナイフ・石鏃・石銛・搔器等のほか、レキ石器の敲石、すり石などが出土しています。



遺跡の立地するチャシコツ岬



積石を伴う土坑墓の検出状況

この遺跡についてのお問い合わせや斜里町の遺跡をもっと知りたい方は…

斜里町立知床博物館（チャシコツ岬上遺跡について）

電話番号：0152(23)1256

斜里町埋蔵文化財センター（斜里町内の遺跡について）

電話番号：0152(23)2017

HPのご案内

知床博物館

<http://shiretoko-museum.mydns.jp>

室蘭市絵鞆貝塚（登録番号：J-01-004）

室蘭市教育委員会

- 調査理由 詳細分布調査
- 調査地 室蘭市祝津町2丁目112-1
- 調査期間 平成27年6月24日から11月5日まで
- 調査面積 66㎡

調査の概要

絵鞆貝塚が所在する室蘭市は、全道屈指の貝塚地帯として知られる噴火湾の東端に位置します。室蘭市域は、噴火湾につきだす半島により天然の湾をなしていますが、その半島の先端部に絵鞆貝塚は立地します。現地は、2棟連結の円形校舎で知られる市立絵鞆小学校の周辺一帯にあたり、湾内を望む緩やかな傾斜地、標高5mほどの地点になります。

この遺跡は、明治・大正期から大貝塚として知られ、多くの遺構・遺物が検出されてきました。出土した資料の中には、現在東京国立博物館所蔵の土偶（縄文晩期）などの優品もあります。戦後にも2度発掘調査



絵鞆貝塚の現況

が行われてきましたが、遺跡は小学校敷地として使われてきた結果、現在どのような状態で遺存しているのか、よくわからなくなっていました。このため、平成27年3月の小学校閉校を経て、遺跡の広がりや残り具合を確かめるため、このたび調査を実施したところです。

遺跡の現状を把握することが目的でしたので、広い面積を掘ったわけではなく、小規模な調査区を敷地全体に設定し、発掘・記録作成・埋戻しを繰り返し行いました。

近代以降の削平等により遺跡が壊れている箇所がある一方で、戦後に行われた盛土の下に、貝塚が現存することを確認しました。貝塚の時期は、縄文後期のほか、その後の続縄文期以降のものも確認できました。この遺跡はこれまで縄文後期の貝塚遺跡と考えられてきましたが、より後代にも貝塚形成が継続していたことが明らかになりました。また貝塚中からは、縄文後期の人骨が一体検出されています。おそらく、より広げて発掘調査を行えば、大規模な貝塚の広がりや、そこに多くの墓址が確認されるでしょう。遺物については、土器や石器類のほか、鯨骨製の骨角器や突漁を示す穴の開いたホタテの貝殻などが出土しています。

これらの成果は、平成27年度3月末刊行の調査報告書で詳細を報告する予定です。



検出された縄文人骨

この遺跡についてのお問い合わせや室蘭市の遺跡をもっと知りたい方は・・・

室蘭市教育委員会（絵鞆貝塚について）

住所：室蘭市幸町1番2
電話番号：0143(22)5094

室蘭市民俗資料館（室蘭市内の遺跡について）

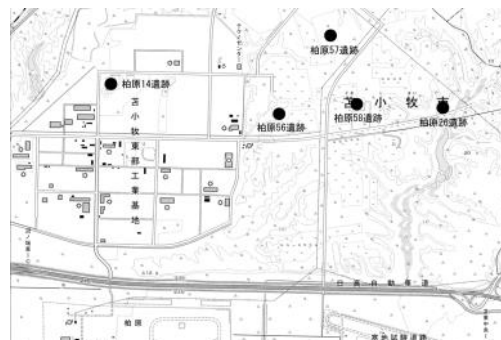
住所：室蘭市陣屋町2丁目4番25号
電話番号：0143(59)4922
メールアドレス：moriwashi-site@festa.ocn.ne.jp
開館時間：10:00～16:00（1月20日～3月19日まで休館）

HPのご案内
室蘭市教育委員会
http://www.cit.muroran.lg.jp/main/org9420/maizou_bunkazai.html
室蘭市民俗資料館
<http://www.cit.muroran.lg.jp/main/shisetsu/minzoku.html>

苫小牧市 柏原14・26・56・57・58遺跡 (登載番号 J-02-76・173・282・283・284)

苫小牧市埋蔵文化財センター

- 調査理由 開発区域詳細分布
- 調査地 苫小牧市柏原6-248ほか
- 調査期間 平成27年6月2日から平成27年7月25日まで
- 調査面積 2,268㎡(1.5×6mの試掘溝252本)



柏原14・26・56～58遺跡位置図

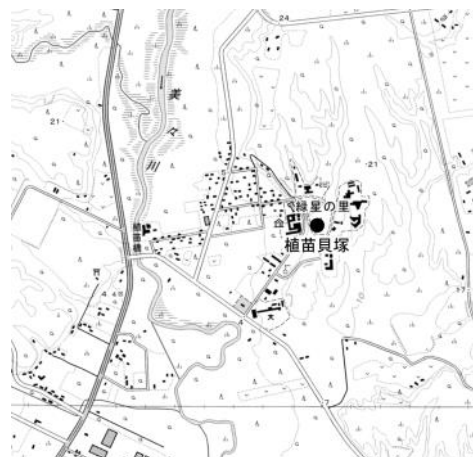
調査の概要

苫東開発地域内柏原地区で遺跡詳細分布調査によって、3遺跡を新たに発見しました。また、周知の柏原14・26遺跡は範囲を確認しました。柏原14遺跡は過去の調査で縄文時代前期の貝塚が確認され、今調査では縄文時代前期の土器や石器のほか、多量の破砕礫が発見されています。柏原26遺跡はパトロールにより発見され、縄文時代前期の土器・石器が出土しています。柏原56遺跡では縄文時代後期の土器が出土しています。柏原57・58遺跡からは落とし穴が各1基確認されています。

苫小牧市 植苗貝塚 (登載番号 J-02-24)

苫小牧市埋蔵文化財センター

- 調査理由 電柱設置
- 調査地 苫小牧市字植苗121-1
- 調査期間 平成27年7月29・30日
- 調査面積 7㎡(1×1mの試掘穴3本、1×2mの試掘穴2本)



植苗貝塚位置図

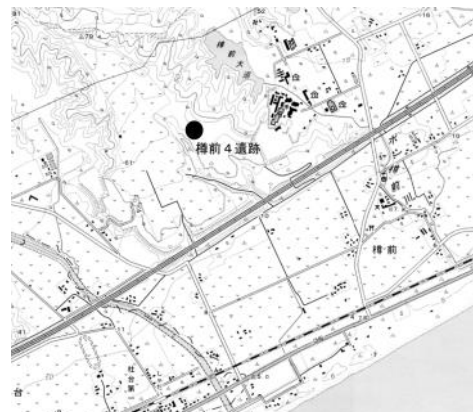
調査の概要

植苗貝塚は道路工事の際に縄文時代前期の貝塚が発見され、調査が行われています。今回は貝塚保存施設に照明設備を設置することで、電柱を設置する5か所に1m四方と1×2mの試掘穴を設置し、調査を行いました。貝塚よりの3か所から縄文時代前期、中期の土器や石器が出土しています。

苫小牧市 樽前4遺跡 (登載番号 J-02-281)

苫小牧市埋蔵文化財センター

- 調査理由 火山灰採取
- 調査地 苫小牧市字樽前387-1
- 調査期間 平成27年4月9日から11月7日まで
- 調査面積 6,200㎡



樽前4遺跡位置図

調査の概要

工事立会したところ落とし穴が18基確認され、調査を行いました。標高50mの高台で落とし穴が確認されたのは、近くでは樽前3遺跡について2例目です。

これらの遺跡についてのお問い合わせや苫小牧市の遺跡をもっと知りたい方は・・・

苫小牧市埋蔵文化財調査センター

住所: 苫小牧市末広町3丁目9番7号

電話番号: 0144(35)2552

閉館日: 月曜日・月曜日が祝日の場合翌日、年末年始

伊達市若生貝塚（登録番号 J-04-3）

伊達市教育委員会

- 調査理由 学術調査
- 調査地 伊達市東有珠町5-1ほか
- 調査期間 平成27年8月17日から10月23日まで
- 調査面積 28.5㎡

調査の概要

伊達市噴火湾文化研究所は平成26年度から、噴火湾沿岸地域の環境変遷とそれに伴う人間活動の特質を明らかにすることを目的とした科学研究費助成事業(基盤研究(B))「北海道噴火湾沿岸の縄文文化の基礎的研究」の一環として、若生貝塚の発掘調査をおこなっています。

平成27年度の調査では、前年度にひきつづき昭和27年に峰山巖らが発掘調査を実施したA地点貝塚の再発掘をおこない、主に以下の成果が得られました。

①貝塚は竪穴住居状の掘り込みが土で埋まり、窪地になった場所に

つくられたことがわかりました。②上記の窪地には巨大な岩を中心とした配石遺構がつくられており、貝塚がそれを覆っていました。③貝塚の断面を観察した結果、貝層の下半部は純貝層(貝殻ばかりの層)で、上半部は混土貝層(貝殻と土が混じり合った層)でした。このことは、下半部が比較的短期間に堆積したのに対し、上半部は長い時間をかけて堆積したことを示していると考えられます。④純貝層と混土貝層の間に焼けた貝殻の層がありました。非常に強い熱を受けて漆喰のように真っ白な灰に

なった貝殻と、焼けてはいるもののそれほどの熱を受けず灰色に変色した貝殻とが連続的に変化していることから、焼けた貝殻を他の場所から持ち込んだのではなく、その場で貝殻を焼いた(貝塚の上で火を焚いた)と考えられます。

今後は年代測定や花粉分析などとともに、若生貝塚の全体像を把握するための分布調査などをおこなう予定です。



A地点貝塚の断面

この遺跡についてのお問い合わせや伊達市内の遺跡をもっと知りたい方は・・・

伊達市教育委員会(文化財係) (若生貝塚について)

電話番号:0142(23)3331

史跡北黄金貝塚公園情報センター(伊達市内の遺跡について)

住所:伊達市北黄金町75
電話番号:0142(24)2122
開館時間:9:00~17:00
(4月1日~11月30日まで期間内無休)

HPのご案内

伊達市噴火湾文化研究所

<http://www.city.date.hokkaido.jp/funkawan/>

厚真町富里1遺跡（登載番号 J-13-37）

厚真町教育委員会

- 調査理由 開発事業(水道管敷設)
- 調査地 勇払郡厚真町字富里53-1ほか
- 調査期間 平成27年6月15日から7月13日まで
- 調査面積 187 ㎡

調査の概要

石狩低地帯南部東縁の太平洋に面する厚真町は、夕張山地南部を源流とした流路延長52.3kmの2級河川厚真川流域に広がる稲作を中心とした農業の町です。富里1遺跡は厚真町市街地より直線距離で北東に6.1km、厚真川河口から約25km遡った中流域右岸、標高44～50mの河岸段丘上の緩い斜面に立地しています。背後にはこの地区のランドマークとなる標高180mのコムニヌプリ(地域名:檜山)があり、その南麓にあたります。遺跡南西部の厚真川と支流顔眉宇川との合流点付近には沖積低地が広がり、比高差約10mの段丘縁辺部からの眺望が良い場所でもあります。

発掘調査は水道管敷設の掘削幅3m、延長60mで、遺構確認のため一部を拡張しています。発掘調査



調査区全景

の結果、駒ヶ岳c2火山灰(1694年)と樽前b火山灰(1667年)の間のⅡ層と樽前b火山灰より下層のⅢ層から中世アイヌ文化期、樽前c火山灰(約2,500年前)より下層のⅤ層から縄文時代晩期中葉、後期初頭、中期中葉、前期前葉の遺構遺物が確認され、出土遺物は総数1,546点が出土しています。

シャクシャインの戦い(1669年)の時期に該当する近世前葉のアイヌ文化期(Ⅱ層)では中央部に長方形の炉跡1カ所を伴う短軸8mの平地式住居(チセ)跡1軒を検出し、壁際の床面から棒状鉄製品や板状銅製品片、火打石、漆器片、火打石母岩、火打石調整使用時の細片、礫等が出土しています。道内の発掘調査で見ついている平地式住居跡の中で最大規模と思われる。なお同じ時期の



中世アイヌ文化期ガラス玉

遺跡として平成19年に発掘調査したニタツナイ遺跡が1.1km南西にあります。

中世アイヌ文化期は2時期以上があり、新段階にモノ送り場跡1カ所、シカを主体とする獣骨集中1カ所、古段階に平地式住居跡1軒、屋外炉4カ所、ガラス玉集中1カ所、時期不詳の建物跡1軒等を検出しています。主な出土遺物としては、内耳鉄鍋や刀剣類、ガラス玉、メカジキ吻骨、礫等があります。

縄文時代では、晩期中葉の直径約60～70cmの範囲規模の被熱礫集中2カ所と土器集中1カ所、中期中葉の土器集中1カ所を検出しています。

本遺跡での発掘調査は平成28年度も継続して行い、調査報告書は29年度に刊行の予定です。

近世アイヌ文化期チセ跡床面出土遺物
(火打石・漆器片他)

この遺跡についてのお問い合わせや厚真町の遺跡をもっと知りたい方は・・・

厚真町教育委員会生涯学習課社会教育グループ

電話番号:0145(27)2495

メールアドレス:atsuma.hakkutsu@bz01.plala.or.jp

厚真町シヨロマ1遺跡（登録番号 J-13-81）

厚真町教育委員会

- 調査理由 開発事業(ダム)
- 調査地 勇払郡厚真町字幌内93-1ほか
- 調査期間 平成27年5月14日から10月31日まで
- 調査面積 7,855㎡

調査の概要

厚真町は北海道胆振総合振興局管内の胆振東部に位置し、埋蔵文化財包蔵地として登録されている遺跡数は平成27年1月現在で136ヶ所になります。厚真町では厚幌ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘事業で平成14年から調査が開始され今年度で14年目となります。

ダム建設に伴う遺跡(以下厚幌ダム遺跡群)は厚真川河口から30km以上北の厚幌ダム湛水区域内である幌内地区に所在しています。こうした山間部に大規模な遺跡が残された理由としては、夕張や穂別地区



シヨロマ1遺跡Tピット配列（東から）



シヨロマ1遺跡Tピット検出（東から）

に抜ける山越えルートが存在していたからだと考えられます。

今年度厚幌ダム遺跡群の中で厚真町教育委員会が調査した遺跡は、市街地から約18km、標高約68mの厚真川とシヨロマ川の合流点にあるシヨロマ1遺跡です。この遺跡は平成25年度から調査が開始され、今年で3年目になります。続縄文、擦文、アイヌ文化期の調査では土坑1基、焼土5カ所、土器集中3カ所、礫集中3カ所、遺物集中1カ所で、遺物は土器575点、石器類24点、金属製品2点、礫1,591点などです。このうち擦文文化期の地層から焼土、土器、礫等がまとまった範囲に見つかる集中区が3カ所あり、うち2カ所は厚真川段丘縁辺部に見つかるなど特徴的な土地利用の方法が分かってきました。

縄文時代の調査では土坑墓1基、土坑5基、焼土4カ所、Tピット79基、土器などの遺物集中が9カ所で遺物は土器4,900点、石器類914点、礫6,790点など見つかって

います。土器は縄文時代中期終わり頃の北筒式土器や後期初頭の余市式土器が主体的で、中には富良野地方との交流を示す粘土の中に石英を含む「富良野盆地系土器」も多く出土しました。

今回の調査では河岸段丘上にTピットが列状に見つかりました。こうした配列からシカの通り道に効率的な狩猟を行っていたことが予想できます。そして、これまでの調査で段丘の先端には住居跡などの集落が形成され、段丘の奥側はTピットが多いことから狩猟場所として選択されていたことが明らかとなりました。

シヨロマ1遺跡は来年度も調査継続予定で全体の発掘調査が終了します。報告書刊行は平成28年度以降に予定しています。

この遺跡についてのお問い合わせや厚真町の遺跡をもっと知りたい方は・・・

厚真町教育委員会生涯学習課社会教育グループ

電話番号:0145(27)2495

メールアドレス:atsuma.hakkutsu@bz01.plala.or.jp

ちょう いせき
むかわ町ニサナイ 1 遺跡 (登載番号 J-14-102)

むかわ町教育委員会

- 調査理由 詳細分布調査
- 調査地 むかわ町穂別461
- 調査期間 平成27年5月11日から10月30日まで
- 調査面積 25㎡

調査の概要

ニサナイ1遺跡は穂別市街地から南に1kmほど離れた、鷓川東岸の段丘上に位置しています。本遺跡は平成26年度に実施したニサナイチャシ跡の発掘調査に付随して新たに発見された埋蔵文化財包含地ですが、ニサナイ1遺跡については遺跡の範囲が不明瞭であることから平成27年に改めて所在調査を実施しました。

発掘調査はトレンチ法を主体とし、遺跡の所在する段丘縁辺部沿って1m×1m=1㎡のトレンチを25基設定しました。

調査の結果、17号トレンチから25号トレンチにかけてアイヌ文化期の焼土跡や縄文時代の石器が発見され、ニサナイ1遺跡のおおよその範囲が判明しました。今回の調査では建物跡や送り場跡などアイヌ文化期に特徴的な遺構や遺物の発見はありませんでしたが、ニサナイ1遺跡はニサナイチャシ跡とその周辺に展開する遺跡であることから、ニサナイチャシ跡、ひいては穂別のチャシ跡群を理解する上で欠くことのできない遺跡の1つであると位置付けられます。



ニサナイ 1 遺跡遠景



ニサナイ 1 遺跡標柱

この遺跡についてのお問い合わせやむかわ町の遺跡をもっと知りたい方は・・・

むかわ町教育委員会生涯学習課社会教育グループ

電話番号:0145(42)2487

メールアドレス:skyouiku@town.mukawa.lg.jp

様似町冬島遺跡（登載番号K-08-11）

様似町教育委員会

- 調査理由 詳細分布
- 調査地 様似郡様似町字冬島39番地
- 調査期間 平成27年8月29日
- 調査面積 4㎡

調査の概要

冬島遺跡は、様似町市街地から北東側に6kmほど離れた冬島地区に位置しており、冬島川とポンサヌシベツ川に挟まれた海岸段丘上に立地しています。

本遺跡は昭和56年に町内郷土史研究会、様似高等学校郷土研究サークルによる学術調査がおこなわれ、石囲炉をともなう住居跡などの遺構が確認されています。遺物は縄文時代晩期末～続縄文文化期のもものが主体的に多数出土しています。

平成27年の調査では、遺構は検出されず、遺物は過年度と同様に縄文時代晩期～続縄文文化期初頭の土器片、石器、骨角器、獣骨など約3000点が出土しました。また、特徴的な石器として茎部が二股に分かれた黒曜石製の石鏃(油駒型石器)が1点出土しています。類例としては、えりも町油駒遺跡でまとまって認められ、新冠町の遺跡からからも出土例がみられます。



調査区近景



出土遺物

この遺跡についてのお問い合わせや様似町の遺跡をもっと知りたい方は・・・

様似町教育委員会

電話番号0146(36)2521

FAX番号0146(36)4210

メールアドレス samani-e@cello.ocn.ne.jp

様似町郷土資料館

住所 様似町会所町1番地

電話・FAX番号 0146(36)3335

開館時間 10:00～16:30（閉館日：月曜・祝日の翌日）

別海町史跡旧奥行臼駅通所

別海町教育委員会

- 調査理由 史跡整備(遺構確認)
- 調査地 野付郡別海町奥行15-12
- 調査期間 平成27年7月29日から7月31日まで
- 調査面積 20㎡

調査の概要

奥行臼駅通所は、明治43年に別海町奥行臼に設置され、昭和5年に廃止されるまで根室と別海の海岸部・内陸部を結ぶ交通の要衝として重要な役割を果たしました。主屋は駅通全盛期の姿を残し、厩舎や広大な放牧地、さらに道跡も残り駅通所当時の景観が良好な状態で保存されています。

史跡の重要な構成要素である駅通所主屋は、明治36年～40年創建時の中央棟、大正9年増築の北棟、昭和16年増改築の南棟の3棟より構成されています。調査は、駅通所主屋の修理工事実施設計策定のため、基礎構造を確認する必要があることから、建物外部6ヵ所、建物内部5ヵ所にトレンチを設けて調査を行

いました。

中央棟の外部はコンクリート基礎で、二つのタイプが確認されました。一つは全長75cmで角の面を取らないコンクリートを使用したもので、地業は無く礫で周辺を固定しているものです。(以下基礎A)もう一つは、全長50cmで角の面を取るもので、砂利地業が有り礫で周辺を固定しているものです。後者は昭和16年の増築の範囲にあたるもので、時期差を表していると思われる。内部は径40～50cmの自然石玉石の基礎で地業は無く礫で周辺を固定しているものでした。北棟は外内部とも径40～50cmの自然石玉石の基礎で、砂利地業が有るものでした。南棟の外部

は基礎A、内部は、基礎Aと自然石玉石、切石の基礎で共に地業は施されておらず、礫で周辺を固定するものでした。

発掘調査と並行して目視による基礎の確認を行いました。不明な点もありました。解体後には全面発掘を予定しており、詳細な調査により変遷を明らかにする予定です。



史跡旧奥行臼駅通所



北棟外部礎石検出状況

この遺跡についてのお問い合わせや別海町の遺跡をもっと知りたい方は・・・

別海町教育委員会生涯学習課文化財担当

電話番号:0153(75)2111

HPのご案内

<http://betsukai.jp/blog/0002-1/index.php?ID=18>

べつかいちょうべつかい いせきりんせつち

別海町別海2遺跡隣接地（別海2遺跡の登載番号N-02-60）

別海町教育委員会

- 調査理由 詳細分布
- 調査地 野付郡別海町本別海3-18
- 調査期間 平成27年11月19日
- 調査面積 1.5㎡

調査の概要

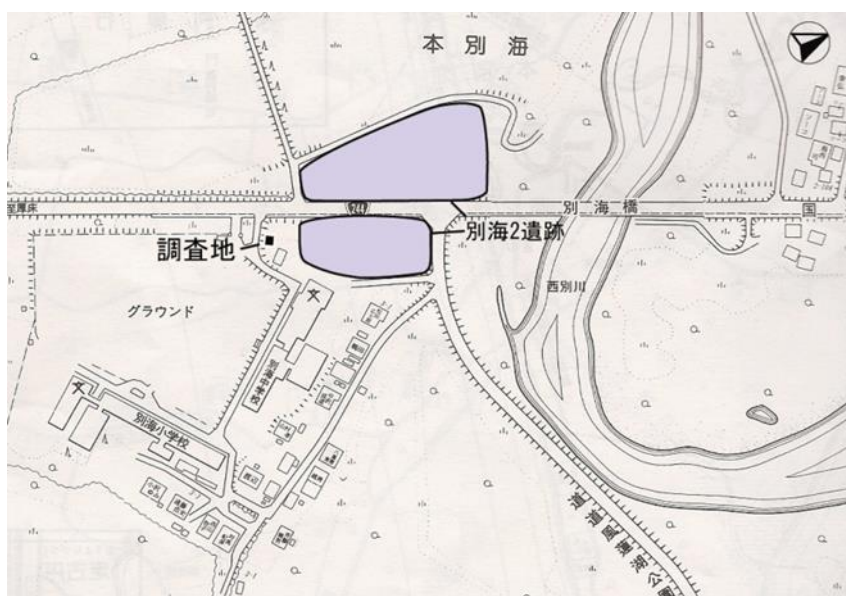
調査地は、標高約5m、別海町本別海市街の南約2kmあり、西別川右岸の段丘上に位置する別海町の所有地です。

隣接する別海2遺跡は縄文時代中期からアイヌ文化期にかけての遺跡であり住居跡、土器、石器などが昭和46年(1971)に行われた調査により見つかっています。

今回の調査は、別海2遺跡に隣接する別海小・中学校の閉校に伴い記念碑の設置場所を選定するにあたり、遺跡範囲及び隣接地内容確認を目的として行いました。

試掘調査の結果、住居の跡や土器や石器などの埋蔵文化財は確認されませんでした。

写真や図面などの記録を作成後は調査時に掘った穴は埋め戻し、調査を終了しました。



調査地及び別海2遺跡位置図

この遺跡についてのお問い合わせや別海町の遺跡をもっと知りたい方は・・・

別海町教育委員会生涯学習課文化財担当

電話番号:0153(75)2111

別海町郷土資料館

電話番号 0153(75)0802

HPのご案内

別海町教育委員会生涯学習課文化財担当

<http://betsukai.jp/blog/0002-1/index.php?ID=18>

別海町郷土資料館

<http://betsukai.jp/blog/0002-2/index.php?ID=137>

平成28年3月 発行

市町村における発掘調査の概要 平成27年度(2015年度)

編集・発行

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課

〒060-8544 北海道札幌市中央区北3条西7丁目

TEL 011-231-4111 内線35-606